

収納率中核市1位を誇る大分市納税課の滞納整理にかかる働き方改革（大分県大分市）

取組概要

税収入22億円増！！時間外勤務88%減！！

- ハード・ソフトの両面から課を挙げて大小様々な業務改革を行い、徴収事務の強化・効率化を図り、**収納率中核市第1位**を達成
- 業務のマンネリ化や一部の職員だけの取組になることを防ぐために、**常に見直しつつ進化を図り**、高い成果を持続させる仕組みづくりを構築

人口 479,466 人 (H30.1.1現在)

担当 財務部 納税課

取組の効果

1. 中核市収納率1位を記録

平成21年度に中核市収納率1位を初めて記録して以降、**6回、1位**を記録

2. 市税に係る歳入増加 ⇒ 平成28年度 現年収納率99.75%

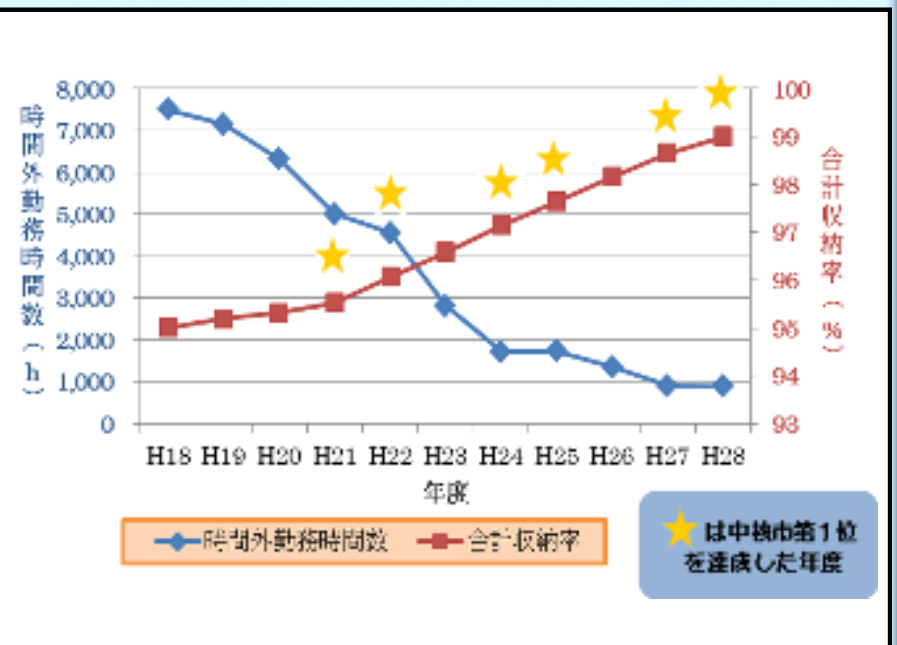
平成18年度ベースで約**22億円増**（調定は約10億円減）

3. 時間外勤務時間数の減少 ⇒ 定時退庁の実践、有給休暇取得率約7割

平成18年度ベースで約**88%減**（7,500h/年⇒887h/年）

4. 働きやすくやりがいのある職場づくり

上意下達（トップダウン式）から**下意上達（ボトムアップ式）**の仕組みを構築したことにより、納税課全職員が働きやすく、やりがいを感じ、ワーク・ライフ・バランスが実践できる職場づくりが進んだ



合計収納率と時間外勤務時間数の推移

創意・工夫した点

- 常に業務を見直し、**より良い方法があれば積極的に取り入れる組織体制を構築**したことにより、収納率向上による歳入確保と時間外勤務時間数減少による歳出削減を両立。
- ボトムアップ式**の「自ら考え行動する組織」となったことで、業務の見直し、新たな取組等のカイゼン提案が行われる組織体制となった。
- 納税課全職員で取り組んだ**ことにより、課内の雰囲気良くなり結束力が高まった。

他団体へのアドバイス

- 課全体を1つのチームとして、同じ目標に向けて取組を行っていくことが大事。
- 組織全体のスケジュールと職員個人のスケジュールをリンクさせて業務管理を行うことで、情報の共有化が図られ、自ら考えて動く組織が創られている。
- 上司と部下、同僚とのコミュニケーションが密になり、風通しの良い、働きやすい職場風土になる。